

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ガーデンキッズトリア		公表日		令和8年2月18日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
体制・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		・必要に応じて、お子さまが使用している視覚支援のツールや教材（食具、絵カード等）を訪問先に提示しています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・配置基準を満たし、運営を行っています。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・PDCAサイクルを意識しながら日々の業務を行っています。改善が必要な事案については、ミーティングの時間を活用し、職員同士で意見を出し合いながら改善策を検討しています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有しています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員との面談やチーム会議などで、聞き取りや意見交換を行い、業務改善に努めています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・外部評価を実施していただいた事業所の課題や改善点を整理し、今後の運営に活かしていきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員会議を通しての学びや外部で開催される専門的な研修等へ参加しています。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・チーム職員で、お子さまの実態や課題について話し合い、ストレングスや課題等を明確にしてから作成しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・個別支援計画の作成にあたり、訪問先施設と連携会議を開催しています。 ・訪問先施設や担任等の意向についても確認し、支援内容に反映できるよう努めています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティングで個別支援計画の目標や支援内容を伝達し、職員間で連携した支援を行うよう努めています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・新版K式発達検査2020、PVT-R絵画語い検査を保護者承諾のうえで実施しています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			・保育所等訪問支援ガイドラインに示されている具体的な支援内容を踏まえ、お子さまの実態に応じた個別支援計画の作成を行います。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・訪問前に、支援計画をもとに、どの部分を重点的に見学するかなど細かな打ち合わせを行ってから保育所等訪問支援を実施しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ミーティング時に、お子さまの様子や訪問先施設とやりとりした内容についてチーム間で共有しています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先の支援や保育方針等の理解に努め、尊重しながら支援の提供に努めています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・訪問支援実施後は必ず報告書を作成し、職員間で共有しています。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングに加え、保護者から訪問支援の依頼があった際に、関係者へ聞き取りを行っています。その内容をもとに、支援計画の内容など見直しを行っています。			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者やチーフ、クラス担当が参加しています。			

関係機関や保護者との連携	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学の際は、移行支援シートを作成し、保護者の了承を得たうえで小学校へ情報提供を行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・毎月の園内研修や福祉全般の分野に渡って幅広く研修を行っています。 ・職員が自己研鑽に励めるよう希望者は、オンラインで受講できるe-learning（スペシャルラーニング）を導入しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・保護者に引き継ぎや保育所等訪問支援の報告を行う際は、お子さまの課題面だけでなく、できている部分や支援内容なども伝え、共通理解が図れるようにしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・マルガガーデンズと連携し、9月～11月にペアレント・プログラム（全6回）を実施しました。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・初めて訪問させていただく園や学校については、特に丁寧に説明するよう心掛けています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に個別相談の機会を設け、悩みや相談に関して助言やアドバイスなどを行っています。個別相談期間以外でも、随時対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		・年2回、合同保護者会を実施しています。 ・トリアの保護者同士のつながりが広がるよう、茶話会を実施しています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月、おたよりにて活動内容や行事予定をお知らせしています。 ・連絡帳アプリ（コドモン）を活用して情報を迅速に保護者へお知らせできるよう努めています。また、ホームページにて活動の様子も掲載しています。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・今後も、個人情報の取り扱いには十分留意し対応します。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・お子さまへのコミュニケーションの手段として、発達段階に合わせて写真や絵カードなどの視覚支援ツールを用いています。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・訪問先からの相談などについては、直接の訪問や電話連絡にて担当者や情報共有を行い、対応しています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・保育所等訪問支援の実施後、訪問先の担当者や情報共有を行っています。また、支援方法等について説明し、訪問先施設の先生方と共通理解が図れるよう努めています。	・訪問先の都合に配慮しながら、調整を行い、支援の共有に努めます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・保育所等訪問支援の実施後、保護者へお子さまの様子や園・小学校の先生方とやりとりした内容を説明しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・年間計画を作成し、毎月1回の避難訓練を実施しています。また、入口ホールには各種マニュアルのファイルを設置しています。		

非常時等の対応	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット報告書については、職員は必ず閲覧し、状況の把握、日頃からのヒヤリハットに対する意識の向上に努めています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎年、全職員を対象に人権侵害防止に関する書類への署名や職員会議で虐待防止に向けた意識向上の取り組みを行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束に関する事案はありません。	